

WBT コースカタログ 表示ガイド

Version 1.0

2002.06.25

先進学習基盤協議会

コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討 WG

目次

1 . はじめに	1
2 . 目的.....	1
3 . WBT 表示項目の構成	1
4 . 当面の活用のイメージ	2
5 . 今後の活用のイメージ	2
6 . 注意点.....	3
7 . WBT 表示項目の記入要領.....	5
7 . 1 コース基本情報.....	5
7 . 2 学習環境情報	6
7 . 3 サービス基本情報	7
7 . 4 コンテンツ情報.....	9
7 . 5 学習者サービス情報.....	11
8 . 最後に.....	14

執筆分担

1 . ~ 6 .	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
7 . 1	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
7 . 2	鈴木 あゆみ	(エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社)
7 . 3	森脇 美和子	(富士通オフィス機器株式会社)
7 . 4	山形 優子	(株式会社テプコシステムズ)
	高岡 良行	(東光精機株式会社)
7 . 5	新目 真紀	(株式会社ケアブレインズ)
8 .	古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)

1．はじめに

(1)背景

WBT コースのパンフレットや Web カタログを作成する際、WBT コースを導入しようとしている企業内教育担当者、あるいは受講を検討している学習者に対して、どのような内容を記載したらよいのかわからないことはありませんか？

先進学習基盤協議会(ALIC)コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(以下 WG)では「ユーザが WBT コースを選択しやすい環境をつくる」ため「WBT コースカタログ表示ガイド」を作成することになりました。

ガイド作成にあたっては、各社の WBT コースのパンフレットや Web での説明から頻出する表示項目と表示の仕方をチェックし、最大公約数としての「WBT 表示項目」を作成しました。この「WBT 表示項目」に基づき表示の内容を解説したのがこの「WBT コースカタログ表示ガイド」です。

(2)「評価」or「表示」

当初 WG では、ユーザが良質な WBT コースを選択できるための評価基準が必要だという考えから出発しました。しかし、コースの良し悪しを問うと、評価者や評価基準をつくる人の主観(学習に関する考え方、Web ユーザビリティに対しての思想)が入ってしまい客観的な基準の合意形成に時間がかかってしまいます。また、現在の日本では「良し悪し」を問うほどコースが充実してありません。そこで「評価」するのではなく最大公約数としての「WBT 表示項目」をリストアップし、提供者側がそれらを明示することが e ラーニング導入や受講の推進につながるのではないかという声があがり、「WBT 表示項目」についてのガイドを検討することになりました。

従って今回のガイドは、ユーザが WBT コースを選択する最初の段階で必要な情報と思われる項目(や機能の有無)のみを対象にしています。最終的な善し悪しを判断するための情報の表示でないということをご理解願います。

2．目的

(1)対象(ユーザ)

学習者と企業の教育担当者で WBT コースの受講(導入)を検討している人

(2)目的

WBT コースの受講(導入)の選択に際し、上記ユーザに必要最低限提示すべき最大公約数としての表示項目をリストアップし、その記載内容をガイドにまとめることで、ユーザの WBT コース選択時の意思決定を支援する。

3．WBT 表示項目の構成

全体で59の表示項目から構成されます。これらの表示項目は「学習環境情報」、「サービス

基本情報」、「コンテンツ情報」、「学習者サービス情報」の4つに大別されます。

(1)学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての15項目が含まれます。

(2)サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての14項目が含まれます。

(3)コンテンツ情報

この分類には当該 WBT コースの期間、学習内容、対象者、学習方法、学習メディアなどについての14項目が含まれます。

(4)学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての16項目が含まれます。

各表示項目の説明については「7．WBT 表示項目の記入要領」を、また表示項目の一覧については別紙「WBT 表示項目一覧」を参照してください。

4．当面の活用のイメージ

当面は、皆様の会社で提供する WBT コースのカatalogや Web サイトを作成される際に、この表示項目に盛り込まれている内容を参考にいただければ幸いです。

なお項目数は一見多く見えますが、複数のコースに共通している項目が大半です。従って1コース記入すれば、以後のコースの記入項目は8～15項目程度で済みます。

5．今後の活用のイメージ

今後 WG では、以下のような活用イメージを検討していきます。

(1)WBT コース検索および登録サイトの作成

各社の WBT コースが表示項目の条件で検索可能な Web サイトの構築。

- (a)ジャンル、キーワード等で大まかな検索ができる
- (b)上記条件に合致するコースを一覧表示できる
- (c)一覧の中からさらに細かい条件で絞り込み検索ができる
- (d)コースの詳細の表示ができる

といった利用を想定しております。

(2)WBT コース登録機能の作成

上記検索を可能とするため、教育事業者用の登録機能の作成。

- (a)Web 上の登録フォーム
- (b)標準データ形式ファイルの一括入力
- (c)コース共通情報の一括入力等

の機能を検討していきます。

6．注意点

本冊子とあわせて作成したユーザ向け冊子「WBT コースカタログ読み方ガイド」では、本表示項目に従って WBT コースの内容をチェックする際の注意点として、以下の4つをあげています。本注意点に留意した上で、ユーザがより安心してサービスを選択できる様、ご記入いただければと思います。

<「WBT コースカタログ読み方ガイド」より抜粋>

(1)機能がたくさんついているコースがいいコースとは限らない

学習機能がたくさんついているコースであっても、自分(自組織)の学習にとって必要のないものであればあっても無駄です。「機能あり」の数が一番多いコースがいいコースではありません。まずはご自身が必要だと思われる学習機能が何なのかを明確にした上で検索するよう心がけてください。

そこで、この冊子では「この機能が有るとこんな学習が可能」あるいは「この機能がない場合、こういったことができません」といった項目の「意味」をできるだけ解説するようにしております。

(2)使える環境がなければ学習はできない

最初にチェックしていただきたいのは「学習環境」です。いくら良いコースでもパソコンのスペックやネットワーク環境によって学習できないものがあります。「学習環境」に制約条件がある場合、ジャンルやキーワードで検索した後かならず学習環境をチェックしてください。

(3)コンテンツだけでなくサービスにも注意を払う

本ガイドラインでは『コース=コンテンツ(=教材)+サービス』としてとらえています。単に Web 上のコンテンツだけでなく、質問対応等の学習者サービス情報、申し込み方法や学習管理等に關してのサービス基本情報にも注意を払いましょう。従来の公開セミナーや通信教育と異なり、WBT では様々なサービスレベルが設定可能です。自分(自組織)が必要とするサービスレベルを想定した後、チェックすることをお勧めします。

(4)価格の表示について

今回のガイドラインは 1 人あたりの受講料(個人料金)、もしくは団体料金での表示ができるようにしております。ただし、今後様々な e ラーニングコースの価格モデルが出てくることが予想されますので、表示方法についても柔軟に対応していきたいと思ひます。

<WBT 表示項目 見本>

コース基本情報

コース名	
会社名	x x x x x x x x
担当部署	
連絡先	03-xxxx-xxxx
URL	http://www.xxxx.com/
提供モデル	ASP
(備考欄)	

(1)学習環境情報

PCスペック	
1 CPU	Pentium以降
2 メモリ	最低 64MB以上 推奨 128MB以上
3 ディスク容量	10MB以上の空き容量
4 画面解像度	最低 800*600Pic以上 推奨 1024*768Pic以上
5 CD-ROM	不要
6 サウンドカード	推奨
7 OS	<input checked="" type="checkbox"/> Win95 <input checked="" type="checkbox"/> Win98 <input checked="" type="checkbox"/> Win98SE <input checked="" type="checkbox"/> Win Me <input checked="" type="checkbox"/> Win NT <input checked="" type="checkbox"/> Win2000 <input checked="" type="checkbox"/> Win XP <input type="checkbox"/> Mac7.x <input type="checkbox"/> Mac8.x <input type="checkbox"/> Mac9.x <input type="checkbox"/> MacX <input checked="" type="checkbox"/> その他(備考欄)
8 ブラウザバージョン	最低 IE4.01sp2 推奨 IE5.5sp1以上
9 Cookieの利用	要
10 必要なソフトウェア (ブラウザソフト含む)	<input checked="" type="checkbox"/> Acrobat Reader <input checked="" type="checkbox"/> Macromedia Flash Player <input type="checkbox"/> Macromedia Shockwave Player <input type="checkbox"/> Real Player <input type="checkbox"/> Authorware Web Player <input type="checkbox"/> Quick Time <input type="checkbox"/> Windows Media Player <input type="checkbox"/> その他(備考欄)

通信環境	
11 インターネット接続の要否	要
12 通信速度	最低 56Kbps以上 推奨 64Kbps以上
13 フルオンライン/オンラインオフラインモデル	フルオンライン
14 メールアドレス	要

15 学習環境情報...備考欄	WinXPは調査中です。JAVAスクリプトを利用します
-----------------	-----------------------------

(2)サービス基本情報

申込方法	
16 申込単位	法人のみ
料金	
17 受講料(コース料金)	個人料金(円) 15750
消費税込	団体料金(人当り)(円)
18 オプション料金	あり(備考欄)
19 リファンド、キャンセル料	あり(備考欄)
20 支払い方法	<input type="checkbox"/> 個人払い <input checked="" type="checkbox"/> 法人一括払い <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
21 料金...備考欄	

学習者管理	
22 管理機能の有無	あり
23 個人認証	あり
24 プライバシーポリシー	あり
25 SSL対応	対応のみ
26 修了判定の有無	あり
27 修了証書の有無	あり(データファイル)
28 公的援助、認定	なし

29 サービス基本情報...備考欄	オプションおよびサービス料金に関しては上記までお問合せください
-------------------	---------------------------------

(3)コンテンツ情報

期間情報	
30 延べ学習時間	15時間
31 在籍期間	4ヶ月
32 期間情報...備考欄	

テーマと対象	
33 シャンル	<input checked="" type="checkbox"/> 階層別教育/マネジメント <input type="checkbox"/> 計数/経理/財務 <input type="checkbox"/> 営業/販売/マーケティング/サービス <input type="checkbox"/> 技術/生産/製造/開発/品質/ISO <input checked="" type="checkbox"/> ビジネススキル/ビジネス知識 <input type="checkbox"/> 語学/国際業務 <input type="checkbox"/> 趣味教養 <input type="checkbox"/> IT/OA/コンピュータ <input type="checkbox"/> 資格/検定 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
34 対象とする階層	ありの場合 特定しない
35 対象とする職種	ありの場合 特定しない
36 対象とする業種	ありの場合 特定しない
37 受講前提	ありの場合 特定しない

学習内容	
38 概要 (学習目標/ねらい/章立て等)	今日の経営戦略について、その全体像と一般的な課題を確認するとともに、自社の戦略を理解するために必要なポイントを理解します。
39 学習内容詳細の参照先の有無	あり(参照先URL)
参照先のURL	http://www.xxxx.com/

学習メディア 学習方法

40 学習メディア	標準 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクーリング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input checked="" type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 オプション <input type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクーリング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 その他の教材
41 準拠している標準規格	なし
42 規格とVer.	
学習方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 学習事前テスト <input checked="" type="checkbox"/> 演習問題 <input checked="" type="checkbox"/> 修了テスト <input type="checkbox"/> ケーススタディ <input type="checkbox"/> 協調学習 <input type="checkbox"/> シミュレーション <input type="checkbox"/> ムービー <input checked="" type="checkbox"/> 音声 <input type="checkbox"/> 用語集 <input type="checkbox"/> テスト問題のパーソナライズ <input checked="" type="checkbox"/> コンテンツのパーソナライズ <input type="checkbox"/> その他(備考欄)	

43 コンテンツ情報...備考欄	1日あたりの標準学習時間は約15分～20分を想定しております
------------------	--------------------------------

(4)学習者サービス情報

学習内容に関する質問受付	
44 有無	あり
45 受付方法	<input type="checkbox"/> e-Mail <input checked="" type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
46 受付回数、頻度	標準で5回まで受講料に含まれています
47 受付時間	随時(サーバ保守の停止中以外)
48 受付から回答までの時間	3～5日
49 回答者の属性	専門分野における本学の添削指導講師

メンタリングサービス(学習動機付け)	
50 有無	あり
51 回数、方法、内容	学習進捗にあわせてチャタリングメール、アラームメールを配信し

ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)	
52 有無	あり
53 受付方法	<input checked="" type="checkbox"/> e-Mail <input checked="" type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
54 受付回数、頻度	特に制限は設けておりません
55 受付時間	電話でのお問合せ12:00～20:00 火曜日、土曜日、祝祭日および年末年始の特定日を除く毎日(Web、e-mailは随時受付)
56 受付から回答までの時間	Web、e-mailの場合は多少お時間をいただく場合がございます

その他学習者サービス	
57 掲示板	オプションであり
58 受講(修了)後アフタケア等	なし

59 学習者サービス情報...備考欄	
--------------------	--

7．WBT 表示項目の記入要領

7．1 コース基本情報

ここには対象コースの基本情報について記入してください。

コース名

対象コースの名称を記入してください。

このとき 1 つのコースの中で複数の選択がある場合は、それぞれ別のコースとして登録してください。（例：MS Word 入門で 2000 と XP それぞれのバージョンがある場合などは、別のコースとして記入します）

会社名

会社名を記入してください。

また開発元等が別にある場合は、別途備考欄に書くことが望ましいです。

担当部署

担当部署、問い合わせ窓口を記入してください。

連絡先

上記の電話番号、メールアドレス等、連絡先を記入してください。

URL

コンテンツ(=教材)やサービスなど対象コースの詳細を説明している Web サイトの URL を記入してください。

提供モデル

対象コースの提供方法を「ASP」、「イントラネット」から選択してください。ASP、イントラネット双方で提供している場合、提供方法に制限がある場合などは「その他」を選択し備考欄にその内容を記載してください。

備考欄

コース基本情報の補足説明を記入してください。

7.2 学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを学習する際に必要となる学習者のパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境について、動作保証できる学習環境を定義してください。

表示項目以外に必要な環境、あるいはあると更に効果的となる学習環境や、特別な仕様等は「15. 学習環境情報...備考欄」に記入してください。

(1)PC スペック

1. CPU

動作保証できる最低限の環境を「CPU(MPU)名+バージョン+クロック 以上」という形で記入してください。 例)Pentium 800MHz 以上

2. メモリ

動作保証できる最低のメモリを「最低」の中から選択してください。また学習者が快適に学習を行なうために必要なメモリを「推奨」の中から選択してください。

3. ディスク容量

ファイルのダウンロードなどで必要とされるディスク容量を記入してください。特に必要のない場合は、「不問」と記入してください。 例)空き容量 30MB 以上

4. 画面解像度

対象コースを Web ブラウザで表示する場合に、必要となる最低限の画面解像度を選択肢の中から選んでください。

5. CD-ROM

学習時に CD-ROM を利用するか否かを「要」、「不要」、「推奨」から選択してください。利用しなくとも学習は可能でも、利用すれば更に効果的である場合は「推奨」を選択してください。

6. サウンドカード

学習時にサウンドカードを利用するか否かを「要」、「不要」、「推奨」から選択してください。利用しなくとも学習は可能でも、利用すれば更に効果的である場合は「推奨」を選択してください。

7. OS

学習可能な OS を全て選択してください。選択肢以外の OS をサポートしている場合は「その他(備考欄)」を選択し 15. にその内容を記入してください。

8. ブラウザバージョン

「最低」には、コンテンツの表示を保証する最低限の Web ブラウザのバージョンを、「推奨」には、十分な学習効果を得るために推奨する Web ブラウザのバージョンを記入してください。また一般的に利用されていない専用の Web ブラウザを使用する場合はブラウザ名を記入した上で「専用ブラウザ使用」と明記してください。

例)Internet Explorer 4.01 sp2 以上、Netscape Navigator 4.7

9. Cookie の利用

学習(特に演習問題)を進める上で Cookie の設定が必要な場合は「要」を選択してください。

パスワード保存など、利用しなくても学習が可能な場合は「不要」を選択してください。

10. 必要なソフトウェア(プラグインソフトを含む)

学習時に必要となるソフトウェアを全て選択してください。特にバージョンを指定する必要がある場合や、他のソフトウェアを使用する場合などは、「その他(備考欄)」を選択し、15. にその内容を記入してください。

(2)通信環境

11. インターネット接続の要否

インターネット環境への接続が必要か否かを「要」、「不要」、「推奨」から選択してください。ASP 型の WBT コースの場合は「要」を選択してください。イントラネット型の WBT コースの場合、学習時は「不要」でも、当該コンテンツから外部の Web ページへリンクがある場合や、必要なソフトウェア(10.)をダウンロードする場合に接続が必要な場合は「要」を選択してください。学習者に CD-ROM 等メディアを提供することにより、インターネットへの接続を回避できる場合は「推奨」を選択し、15. にその方法を記入してください。

12. 通信速度

「最低」には、学習効果が著しく妨げられない程度に最低限必要な通信速度を選択してください。「推奨」には、十分な学習効果を得るために必要な通信速度を選択してください。

13. フルオンラインモデル、オンラインオフラインモデル

学習時のネットワーク接続状態を選択してください。

ネットワークに接続したまま学習する必要がある場合は「フルオンラインモデル」を選択してください。コンテンツのダウンロードや CD-ROM 等の併用により、回線の接続を切った状態でも学習できる場合は「オンラインオフラインモデル」を選択してください。

14. メールアドレス

学習内容に関する質問やレポートの提出などで学習者ごとのメールアドレスが必要か否かを「要」、「不要」、「推奨」から選択してください。学習は可能でも、メールアドレスがあれば更に効果的あるいは便利である場合は「推奨」を選択してください。

またフリーメールアドレスの禁止などの特記事項は15. に記入してください。

(3)備考

15. 学習環境情報...備考欄

1. ~ 14. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

7.3 サービス基本情報

この分類には申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無など、学習サービスの基本情報について定義してください。

表示項目以外に特別なサービスや制度等は「29. サービス基本情報...備考欄」に記入してください。

(1)申込方法

16． 申込単位

受講の受け付けが可能な単位を「個人のみ」、「法人のみ」、「個人・法人双方可」から選択してください。その他申し込み区分などの特記事項は21．に記入してください。

(2)料金

17． 受講料(コース料金)

消費税込みの基本受講料金を記入してください。個人ごとの料金設定がある場合は「個人料金」に、 人まで××円等の料金設定がある場合は、その最低ロットと料金を「団体料金」に、その他のロット及び料金は21．に記入してください。個人、団体双方の料金設定がある場合は、両方とも記入してください。

18． オプション料金

追加サービスなどオプションを選択した際に、上記受講料以外に必要な料金がある場合は「あり(備考欄)」を選択し、その内容を21．に記入してください。

19． リファンド、キャンセル料金

受講申し込み後にキャンセルした場合の場合の規定や、返金に関する取り決めがある場合は「あり(備考欄)」を選択し、その内容を21．に記入してください。

20． 支払い方法

受講料金の支払方法を「個人払い」、「法人一括払い」、「その他(備考欄)」から全て選択してください。「その他(備考欄)」を選択した場合や追加事項は21．に記入してください。

21． 料金...備考欄

16．～20．の項目補足説明、詳細情報のWebサイトのURL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

(3)学習者管理

22． 管理機能の有無

学習進捗やテスト結果の閲覧や出力など、教育担当者用の学習者管理機能の有無を選択してください。「あり」を選択した場合は、学習進捗やテスト結果などの管理している項目、教育担当者への管理項目の提示方法などを29．に記入してください。

23． 個人認証

IDやパスワード等の発行を伴った、学習者ごとの個人認証の有無を選択してください。

24． プライバシーポリシー

プライバシーマークの取得など、個人情報保護に対する組織的な取り組みの有無を選択してください。

25． SSL対応

SSL対応の有無を「対応のみ」、「非対応のみ」、「選択可能」から選択してください。

26． 修了判定の有無

対象コースの修了判定の有無を選択してください。

27. 修了証書の有無

26. で「あり」を選択した場合は、修了証書が発行の有無と発行形態を、「あり(データファイル)」、「あり(紙)」、「なし」から選択してください。

28. 公的援助、認定

公的援助や、認定制度の有無を選択してください。「あり(備考欄)」を選択した場合は、職業訓練給付金制度等の対応している具体的な制度の名称を29. に記入してください。

(4)備考

29. サービス基本情報...備考欄

22. ~ 28. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

7.4 コンテンツ情報

この分類にはコンテンツ情報を定義します。学習期間、ジャンル、受講対象、学習方法、学習メディア等、ユーザがコースを選定する上での判断基準となりますので、具体的に定義してください。

表示項目以外に特記事項がある場合は「43. コンテンツ情報...備考欄」に記入してください。

(1)期間情報

30. 延べ学習時間

連続して受講した場合の延べ学習時間を、「 時間」の様に期間と単位で記入してください。

おおよそのコースの分量が把握でき、どのぐらいの時間で学習が修了するのかの目安となるように、また、オンライン、オフラインそれぞれの学習時間に分けて記入してください。

31. 在籍期間

対象コースを受講可能な在籍期間を、「 週間」や「×ヶ月」の様に期間と単位で記入してください。その他期間に関する情報は32. に記入してください。

32. 期間情報...備考

30. ~ 31. の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。また受講できる時間帯や、標準的な学習期間等はここに記入してください。

(2)テーマと対象

33. ジャンル

「階層別教育/マネジメント」、「計数/経理/財務」、「営業/販売/マーケティング/サービス」、「技術/生産/製造/開発/品質/ISO」、「ビジネススキル/ビジネス知識」、「語学/国際業務」、「趣味教養」、「IT/OA/コンピュータ」、「資格/検定」、「その他(備考欄)」の内、対象コースが属している分野を、3つ以内を目処に選択してください。

3 4 . 対象とする階層

対象としている階層がある場合は「あり」を選択し、経営者層、管理者層、中堅層、新人、・内定者等、具体的な階層名も記入してください。

3 5 . 対象とする職種

対象としている職種がある場合は「あり」を選択し、人事スタッフ、営業パーソン、技術者等、具体的な職種名も記入してください。

3 6 . 対象とする業種

対象としている業種がある場合は「あり」を選択し、金融業、飲食業等、具体的な業種名も記入してください。

3 7 . 受講前提

受講の前提条件がある場合は「あり」を選択し、受講するにあたって必要な知識、スキル、熟達レベル(初級、資格 1 級等)等、具体的な前提条件も記入してください。

(3)学習内容

3 8 . 概要(学習目標/ねらい/章立て等)

学習目標やねらい、学習の流れがわかるような章・節・項などの学習フローやコース体系等、学習者が対象コースの概要を確認できる内容を記入してください。

3 9 . 学習内容詳細の参照先の有無

3 8 . の詳細や、関連コース、著者、発効日等、学習内容に関する詳細情報についての参照先 Web サイトがある場合は「あり(参照先 URL)」を選択し、参照先 URL も記入してください。

(4)学習メディア・学習方法

4 0 . 学習メディア

対象コースを構成する学習メディアを、「オンライン教材」、「スクーリング」、「紙テキスト」、「CD-ROM、DVD 等メディア」、「その他の教材」から全て選択してください。この際、基本受講料で提供するものは「標準」に、ユーザの選択によるオプション料金で提供するものは「オプション」から、それぞれ選択してください。また、「その他の教材」を選択した場合は、その学習メディアも記入してください。

4 1 . 準拠している標準規格

対象コンテンツが準拠している標準規格がある場合は「あり(規格と Ver.)」を選択し、準拠している標準規格名とバージョンも記入してください。また、これまで動作実績のあるプラットフォーム名を 4 3 . に記入してください。

4 2 . 学習方法

以下の学習方法のうち、当該コンテンツで提供している学習方法や機能を全て選択してください。また選択肢以外で、学習効果を高めるために提供している学習方法や機能は 4 3 . に記入してください。

「学習事前テスト」

学習の事前にテストや診断を行う機能です。

「演習問題」

知識をより着実に定着させるための演習問題を提供する機能です。

「修了テスト」

知識の定着度合い、達成度を診断するためのテストを提供する機能です。

「ケーススタディ」

ケーススタディとは、実際のビジネスなどからの事例を用いて、データを分析しながら、短時間で自分なりに問題定義と解決案を考えそれを立証する練習形式です。

「協調学習」

他の学習者とコミュニケーションしながら学習する機能です。

「シミュレーション」

実際の仕事やコンピュータソフトの操作をパソコン上で再現し体験学習を行う機能です。

「ムービー」

ストリーミング配信等の動画で、実技場面や講師の講義場面をパソコン上で再生する機能です。

「音声」

ナレーション等音声を画面とあわせて出力する機能です。（「6.サウンドカード」の利用可否もチェックしてください。）

「用語集」

コースの中に用語やその説明の一覧を表示する機能です。

「テスト問題のパーソナライズ」

個々の学習者の進捗や達成状況にあわせてテスト問題を変える機能です。

「コンテンツのパーソナライズ」

個々の学習者の進捗や達成状況にあわせてページの順番等を変える機能です。

(5)備考

4.3. コンテンツ情報...備考欄

30.～42.の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

7.5 学習者サービス情報

この分類には学習者に対して行うサービスを定義します。本項目では学習者に対するサービスを、その内容から以下の3つに細分類しています。

- ・ 学習内容に関する質問受け付け

対象コースの学習内容に関する質問を受け付けるサービスです。

- ・ メンタリングサービス(学習動機付け)

学習者の進捗状況を見てメンターがアドバイスや励ましのメールを送ったり、学習者からの相談に乗ったり等、学習活動を支援するサービスです。

- ・ ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

コンピュータの操作方法等直接学習内容に関わらないもの、学習を進めてい

く上での質問を受け付けるサービスです。

本細分類の項目の内容と同様のサービスを、異なる名称、分類で提供している場合は、適当と思われる項目に適宜分類しご記入ください。

表示項目以外に必要、あるいはあると更に効果的、追加オプション等で実施するサービス「59．学習者サービス情報・・・備考欄」に記入してください。特に情報の公開を希望しない場合は、項目欄等に「詳細はお問い合わせください」と記入してください。

(1)学習内容に関する質問受付

44．有無

学習内容に関する質問の受け付けサービスの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

45．受付方法

45．から49．の項目は質問の受け付けサービスを実施している場合(44．で「あり」又は「オプションであり」)、その方法を「e-Mail」、「Web」、「FAX」、「電話」から全て選択してください。

その他の受付方法がある場合は「その他(備考欄)」を選択し、59．にその内容を記入してください。追加オプション等で実施している場合は「詳細はお問い合わせください」と記入しても構いません。

46．受付回数、頻度

質問の受け付け回数、頻度等に制限がある場合は記入してください。

47．受付時間

質問を受け付ける時間に制限がある場合はその時間を「45．受付方法」ごとに記入してください。

48．受付から回答までの時間

質問を受け付けてから回答をするまでの時間を、「時間(以内)」や「×週間」の様に、期間と単位で記入してください。

49．回答者の属性

学習者に回答内容のクオリティを示すための、回答者の所属、肩書き、名前等属性情報を記入してください。

(2)メンタリングサービス(学習動機付け)

50．有無

学習者のやる気を持続させるようなメンタリングサービスの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

51．回数、方法、内容

受け付ける回数や受け付ける方法に関する制限事項や、サービスの内容を記入してください。追加オプション等で実施している場合は「詳細はお問い合わせください」と記入しても

構いません。

(3)ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

5 2 . 有無

コンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクの有無を選択してください。別途料金が発生する場合や、相談に応じて実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

5 3 . 受付方法

5 3 . ~ 5 6 . の項目は質問の受け付けサービスを実施している場合(5 2 . で「あり」又は「オプションであり」)、その方法を「e-Mail」、「Web」、「FAX」、「電話」から全て選択してください。

その他の受付方法がある場合は「その他(備考欄)」を選択し、5 9 . にその内容を記入してください。追加オプション等で実施している場合は「詳細はお問い合わせください」と記入しても構いません。

5 4 . 受付回数、頻度

質問の受け付け回数、頻度等に制限がある場合は記入してください。

5 5 . 受付時間

質問を受け付ける時間に制限がある場合はその時間を「5 3 . 受付方法」ごとに記入してください。

5 6 . 受付から回答までの時間

質問を受け付けてから回答をするまでの時間を、「時間(以内)」や「×週間」の様に、期間と単位で記入してください。

(4)その他学習者サービス

5 7 . 掲示板

学習者間、学習者と指導者間のコミュニケーションツールの有無を選択してください。追加オプションで実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

5 8 . 受付(終了後)アフタケア

学習修了後の復習環境の提供、質問の受け付けといったアフタケアの有無を選択してください。追加オプションで実施するサービスの場合は「オプションであり」を選択してください。

(5)備考

5 9 . 学習者サービス情報・・・備考欄

4 4 . ~ 5 8 . の項目の補足説明、詳細情報の Web サイトの URL、問い合わせ窓口の連絡先等を記入してください。

8 . 最後に

『WBT コースカタログ表示ガイド』いかがでしたでしょうか?このガイドは先進学習基盤協議会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループに集ったボランティアの手で作成されたものです。ユーザの皆様がより e ラーニングに親しみを持ってもらうためには何が必要かを考える上で「e ラーニングの選びやすい環境」が必要と考えました。

冒頭にも書いたとおり、このガイドはコースの「善し悪し」は判別するものではありません。教育事業者の皆様が、WBT コースの最低限の品質情報を公開することで、ユーザがより安心して WBT コースを選択することが可能になります。これが WBT コースの流通促進、高品質化、さらに e ラーニング全体の普及につながれば、ワーキンググループのメンバーにとってこれに勝るよろこびはございません。

今回作成した『WBT コースカタログ表示ガイド』は、e ラーニング品質表示の基盤作りの「第一歩」です。教育事業者の皆様、さらにユーザの皆様からのご意見をもとに、さらに良いものにしていきたいと考えております。ご意見、ご感想等がございましたら、ぜひ ALIC 事務局までアドバイスいただければ幸いです。下記の URL にてパブリックコメントを募集しておりますのでよろしくお願いいたします。

パブリックコメント URL : <http://www.alic.gr.jp/anq/ewg/> (2002/7/30 まで)

WBT コースカタログ表示ガイド

Version 1.0

2002 年 6 月 25 日 作成

著者：先進学習基盤協議会 コンテンツ部会
e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ

contact@alic.gr.jp

<http://www.alic.gr.jp/>

本書を無断複写複製(コピー)すると著作権者の権利侵害となります。